

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	建築計画 3
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	初学者の建築講座-建築計画（第3版）／資料配布				
担当教員情報					
担当教員	小林 郁夫			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士
学習目的					
建築物を作り上げるプロセスには様々な職能が関わり、様々な意思決定がなされていく。発注者から設計者へ、さらには設計者から施工者へ移っていく。つまり全プロセスの初めから最後まで設計者が中心的な役割を果たすことが多い。そこでこの科目は、学生が企画設計・基本設計で重要となる建築計画の基礎知識を学び、実施設計まで昇華することが目的である。建築物は用途により、または建物の使われ方により諸室が果たす機能が違ってくる。そこを充分理解しながら、設計製図の科目並びに、2級建築士程度の知識を学ぶのが目的である。					
到達目標					
この科目では、公共建築物の実例を紹介しながら歴史の変遷や有名建築を学び、学生が、建築空間や構成の面白さ味わってもらうことを第一目標としている。また、建築計画2より特殊性の高い施設の学習をすることで、利用者と管理運営者の立場の違いやゾーニング・動線計画・機能・各部門の繋がりの応用知識を身に付けてもらうことがねらいである。そして学生が、2級建築士程度の知識が備わることが目標である。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、考える力を育てるためにアクティブラーニングを採り入れる。ひとつしか解のない数学と違って、建築は施主・設計者によって解が変わる。そこで、他人と意見交換し情報を共有しながら、解を導き出すまでの過程を学んでいく。考えることを意識し能動的な学習を通じて、学生の「積極性・協調性」を育成する。				
注意点	・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。				
評価方法		割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	25%	授業内容の理解度を確認するために実施する（レポートを含む）		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	25%	授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容			各回の到達目標	
1回	ガイダンス 高齢者施設			計画、実例建築	
2回	病院			病院建築の変遷・計画・実例紹介	
3回	病院			病院建築の変遷・計画・実例紹介／確認テスト	
4回	事務所			事務所の変遷・計画・実例紹介	
5回	事務所			事務所の変遷・計画・実例紹介／確認テスト	
6回	劇場・音楽ホール			劇場・音楽ホールの変遷、計画、実例紹介	
7回	劇場・音楽ホール			劇場・音楽ホールの変遷、計画、実例紹介／確認テスト	
8回	百貨店・スーパー			百貨店の変遷、計画、実例紹介	
9回	百貨店・スーパー			百貨店の変遷、計画、実例紹介／確認テスト	
10回	飲食店			飲食店の変遷、計画、実例紹介	
11回	飲食店			飲食店の変遷、計画、実例紹介／確認テスト	
12回	宿泊施設			宿泊施設の変遷、計画、実例建築	
13回	宿泊施設			宿泊施設の変遷、計画、実例建築／確認テスト	
14回	駐車場			駐車場の計画、確認テスト	
15回	その他			実例建築の紹介 まとめ	